

**ゼ郡アムッセノン・トメ公立小学校**  
**石綿不使用の屋根板を使った 3 教室、事務室、倉庫を擁する 1 棟の校舎**  
**および 8 つの個室を擁するトイレの建設に関する**  
**作業報告書その 1**

**2023 年 3 月 28 日 火曜**

午後 3 時にアムッセノン・トメで総会。

住民を代表するのは、村長、役員、PTA メンバーなどの数人の市民と当局です。契約書が読まれました。契約書に記載された条件は賛成票で受け入れられました。それから私たちは建設現場に行きました。材料を保管する倉庫と建設スタッフが宿泊する部屋が準備されました。

**2023 年 3 月 29 日 水曜**

今日は小さなチーク材を購入しました。次に、新しい建物の地形測量が行われました。新しい建物は古い建物に対して 90 度の角度で配置されました。ついに建物の遣り方(水平線などを設定するための仮設物)が施工されました。

**2023 年 3 月 30 日 木曜**

村の男性数名が建物の基礎溝を掘り始めました。村長は住民を奨励するために作業に同行しました。



**2023 年 3 月 31 日 金曜**

ラグーン砂とセメントが建設現場に届けられました。建物の基礎溝の掘削が進んでいます。

**2023 年 4 月 1 日 土曜**

基礎ブロックの製造が始まりました。雨により作業が遅れた後、石工たちは 2.5 トンの基礎ブロックを完成しました。

NPO 法人 AS が先月実施した給水塔の建設により、敷地への水の供給が大幅に改善されました。

#### **2023 年 4 月 3 日 月曜**

今日、石工たちは建物の基礎となる 15 センチの穴無ブロックを 2 トン作りました。

建物の溝の掘削はゆっくりとしか進んでいない。

#### **2023 年 4 月 4 日 火曜**

石工と鉄工は仕事を進めています。石工は 15 センチの穴無ブロックを 2.5 トンと 15 センチの穴有ブロックを 2.5 トン完成しました。

#### **2023 年 4 月 5 日 水曜**

スタッフは全員朝から仕事をしています。鉄工が基礎の鉄筋を組み立てはじめました。石工たちは夕方までに 15 センチの穴無ブロックを 1 トンと、15 センチの穴有ブロックを 3 トン作りました。



#### **2023 年 4 月 6 日 木曜**

建物の基礎溝の掘削が行われています。恒久的な水の必要性については、敷地に近い給水塔の水を使用するため、この問題は解決されます。現場で毎日必要となる発電機の移動だけが問題となっています。

#### **2023 年 4 月 7 日 金曜**

建物の基礎溝の採掘が続きます。作業を完了するために数人が到着しました。石工たちは彼ら自身で柱の設置個所を広げます。



**2023年4月8日 土曜**

早朝、村から多くの女性たちが基礎ブロックを基礎溝に運ぶために到着しました。溝の掘削は今朝完了しました。石工たちは溝を調整し、鉄筋コンクリートの打設を開始しました。鉄工は鉄筋を溝に配置し始めました。午後4時頃、激しい雨が降って作業が中止になりました。



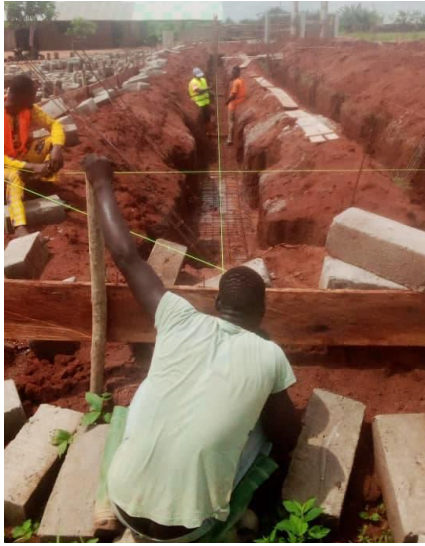
**2023年4月10日 月曜**

先週からラグーン砂が品薄になっていました。NPO 法人 AS の事務局長に伝えました。當田アストリット夫人は別の採石場から砂を注文せざるを得ませんでした。徐々に鉄筋コンクリートの打設を勧めます。

**2023年4月11日 火曜**

村の女性たちはブロックを溝まで運びました。石工たちは引き続き鉄筋コンクリートを打設しています。鉄工は下部アンカー用の鉄筋を組み立てました。石工と鉄工によって建物の柱が設置されています。





### 2023年4月12日 水曜

今日は午後3時30分から、石工長のジェラルールとNPO法人AS会長と私で、学校のPTAと面談しました。私たちは彼らに、小グループに分かれて交代で現場で働くよう住民を動員するよう依頼しました。彼らは明日から実行すると約束しました。NPO法人AS会長は再訪して状況を確認すると約束しました。石工と監督者は証拠として動画と写真を送信します。

石工たちは建物の基礎壁を建て始めました。砂不足でしたが、今日は10輪トラックで砂が届けられました。

### 2023年4月13日 木曜

昨日の会議の終わりに約束したように、今日はトイレの穴を掘るために大勢の住民が参加しました。建物の基礎壁を高くする石工の仕事を手伝えるために、数人の若い女性がブロックを運びに来ました。石工、鉄工、型枠工は、建物の下部の鉄筋アンカー（最初の鉄筋アンカー）を施工するために働いています。この日は、トイレの穴は深さ1メートルまで掘られました。NPO法人AS会長の介入がなければ、今日の進捗は実現できなかったでしょう。これからの日々は、アムッセノン・トメの住民の献身の証しなるでしょう。

NPO法人AS理事長へ、ブラボー！ 責任感を証明してくれた人々に、ブラボー！



**2023年4月14日 金曜**

トイレの穴の掘削は続けられています。鉄が現場に届けられました。下部の鉄筋アンカーの残りが型枠に入りました。コンクリートが準備されている間に、昨日打設された下部の鉄筋アンカーの上いくつかの壁が建てられます。

**2023年4月15日 土曜**

建物の長辺の下部の鉄筋アンカーの上に壁が建てられています。鉄筋工は、窓の下辺に中間の鉄筋アンカー（つまり2番目の鉄筋アンカー）を取り付けています。今日石工は15センチの穴有ブロックを作りました。



**2023年4月17日 月曜**

中間の鉄筋アンカーにコンクリートが流されました。

注記: 土曜以来、人々が不在であることを記録する必要があります。なんと残念なことでしょう！

**2023年4月18日 火曜**

ベランダの柱の鉄筋を配置し、鉄筋を延長しました。型枠工は、鉄筋が設置された金属の型枠を締めていました。建物の壁が着々と高くなっています。



注記: 先週以来、セメントの価格が上昇しています。入手するには長距離を移動する必要があります。体力を消耗します。

**2023年4月19日 水曜**

今朝、村の女性たちが現場に到着しました。彼女らは石工を助けるためにブロックを運び、教室前のベランダを埋め戻す作業も始めました。型枠工がベランダの支柱の型枠を締め終えました。建物の柱にコンクリートが流されました。大雨により、給水塔側の建物の裏にある小さな壁が崩壊しました。豪雨が止んだ後、すぐに再建されました。

**2023年4月20日 木曜**

上部の鉄筋アンカー(またはドアや窓の鉄筋アンカー)用に私たちは板を買い、切ってもらったため製材所に持ち込みました。製材所では電気が一日中利用できず、型枠工は上部アンカーの型枠を完了できませんでした。石工たちは残りの柱にコンクリートを打ちました。

**2023年4月24日 月曜**

先週金曜に上部アンカーにコンクリートを打ちました。今日は型枠を一部剥がしました。

**2023年4月25日 火曜**

上部の鉄筋アンカーの上に4列のブロック壁が建てられています。鉄筋工は屋根の下のアンカー用の鉄筋を置きました。

**2023年4月26日 水曜**

上部の鉄筋アンカーの上に壁がさらに作られます。建物の側面の一つが完成しました。

**2023年4月27日 木曜**

支柱の鉄筋が延長され、鉄筋アンカーの一部に型枠が設置されました。上部の鉄筋アンカーより上の壁はほぼ完成しています。

**2023年4月28日 金曜**

上部の鉄筋アンカーの上の壁はすべて完成です。鉄筋アンカーの型枠も完了しました。一部の支柱も型枠に入れられています。



**2023年4月29日 土曜**

鉄筋アンカーといくつかの柱にコンクリートが打たれました。

**2023年5月1日 月曜**

破風は4面に取り付けられました。破風の5面目を取り付けようとしたときに、大雨が降って作業が遅れました。

**2023年5月2日 火曜**

住民たちはトイレ用の穴掘りを再開しました。建物の階段が作られました。



**2023年5月3日 水曜**

建物のすべての破風がついに完成しました。切妻の高さの柱にコンクリートが流されました。住民たちは専門家を雇ってトイレの穴の掘削を続け、その穴の深さは今日では 2.60メートルに達しました。鉄工は、階段を建物に取り付けるための鉄筋を組みました。



**2023年5月4日 木曜**

トイレの穴の掘削は進んでいません。会長、事務局長、NPO のメンバー数名が建設現場を訪問し、学校に関するその他のプロジェクトについて話し合いました。

注記: サンディ・ブレイヤード夫人が夕方に現場を訪れました。NPO メンバーの事務研修を担当しています。



**2023年5月5日 金曜**

建物の横へブロックを運びに女性たちが来ました。これらのブロックはスロープを構築するために使用されます。

**2023年5月6日 土曜**

校舎のスロープの建設が始まりました。トイレの穴を担当する作業員も、住民の手伝いの方も、どちらも現れませんでした。



**2023年5月8日 月曜**

スロープの鉄筋が完了し、型枠作業を始めました。階段にコンクリートを流し始めました。

**2023年5月9日 火曜**

さらに多くの段にコンクリートを流しました。昨日コンクリートの打設が終わった部分の型枠は剥がしました。花壇が作られました。NPO 法人 AS 事務局長の現地訪問後、女性らが階段の隙間を砂で埋めました。







**2023年5月10日から5月16日まで**

NPO スタッフは、アムツェノン・トメの他のプロジェクトのために現場から一時撤収しました。

**2023年5月17日 水曜**

色付きの屋根板が現場に搬入されました。最初の搬入で、トラックは 200 枚の屋根板を輸送してきました。2 回目の搬入では、180 枚の屋根板を輸送してきました。合計 380 枚の屋根板を受け取りましたが、そのうち 9 枚は非常に状態が悪いため、明日交換することになりました。



**2023年5月18日 木曜**

今朝、住民たちが教室に砂を運ぶ作業をしました。ベランダも埋め戻されました。トイレの穴の深さは約3メートル。女性たちは教室の一部を埋め戻しました。





**2023年5月18日から5月29日まで**

NPO スタッフは、アムッセノン・トメの他のプロジェクトのために現場から一時撤収しました。

**2023年5月30日 火曜**

NPO 法人 AS の会長が住民の意識を高めようと介入したにもかかわらず、トイレは深さ4メートルで終了することにしました。この怠惰な人々がこの深みに到達するのは決して簡単ではありませんでした。それは彼らにとっては苦役そのものだったのです。

**2023年5月31日 水曜**

今朝、石工はトイレの穴に鉄筋コンクリートを打設しはじめました。鉄筋と柱が基礎に埋め込まれます。



**2023年6月1日 木曜**

トイレの壁は6列まで穴無基礎ブロックで建てられました。

**2023年6月2日金曜**

最初の鉄筋アンカーが敷設され、型枠が設置され、トイレの基礎壁の上に打設されました。





**2023年6月3日 土曜**

トイレの最初の鉄のアンカーの上に石工たちは壁を建て続けました。大雨のため、午後 12 時から午後 2 時まで作業が中止されました。雨が上がった後、トイレの最初の鉄筋アンカーの上の壁が完成しました。本日、教室を埋めるための砂が 3 回分搬入されました。



注記: トイレの建設が始まって以来、住民は砂の埋め戻しに参加しておらず、手伝いにきていないことを記録しておく必要があります。

**2023年6月5日 月曜**

2 番目の鉄筋アンカーが打設されました。

**2023年6月6日 火曜**

トイレの壁は地面に届きました。午後 2 時半～6 時過ぎは雨のため作業が中止しました。



**2023年6月7日 水曜**

3番目の鉄筋アンカーが準備されました。鉄筋アンカーを型枠で覆う前に、壁を乾燥させる必要があります。



**2023年6月8日 木曜**

トイレの3番目の鉄のアンカーは、スラブのブラケットを残して打設されました。その後、シカライトとシカラテックスを使って穴内部の漆喰塗装が始まりました。



**2023年6月9日 金曜**

穴の4つの区画のうち2つは下から上へと漆喰で塗り固められました。建物の埋め戻しに関しては、住民が集まらなかったため、NPO法人ASの事務局長は、この仕事を完了させるために学生チームを雇わなければなりませんでした。





**2023年6月10日 土曜**

トイレの穴の残りの2つの区画に漆喰が塗られました。

**2023年6月12日 月曜**

NPO 法人 AS の事務局長が雇った埋め戻しチームが素晴らしい仕事をしています。鉄筋工はトイレのスラブ用の鉄筋を組み立てました。次に、型枠に入れ、コンクリートを打ちます。



**2023年6月13日 火曜**

トイレの8つの個室の壁は、ドアの上の鉄筋アンカーの高さまで建てられました。



**2023年6月14日 水曜**

鉄筋アンカーとドアの上の型枠が作成され、コンクリートが流されました。

**2023年6月15日 木曜**

トイレの破風が建てられました。トイレへの階段の鉄筋コンクリートが打設されました。トイレブロックの片側が完成しました。もう片側の階段の鉄筋コンクリートを打設作業をしていましたが、大雨で作業に支障が出ました。



注記: 建物のドア、窓、窓格子、トイレブロック、雨戸が現場に届けられました。雨は夕方まで降り続けました。

**2023年6月16日 金曜**

石工は窓の設置と締め付けを開始しました。

**2023年6月17日 土曜**

建物の防犯格子を受け取りました。

**2023年6月19日 月曜**

今日は雨のため作業が遅れました。

**2023年6月20日 火曜**

大工が建物の屋根組を設置するために到着しました。



**2023年6月21日 水曜**

屋根組の組み立てが続きました。午後は土砂降りの雨の中、6号サイズの鉄棒を探しました。ゼの町中を探しましたが見つからず、手に入れるにはアボメ・カラヴィに行かなければなりませんでした。次の課題は、この雨の中、これらの鉄棒と屋根板を運ぶ三輪車を見つけることでした。夕方になってようやく資材を持って現場に戻ることができました。



**2023年6月22日 木曜**

労働者たちは熱意を持って、建物の組み立てられた屋根組に垂木を取り付けました。



**2023年6月23日 金曜**

屋根組は6号の鉄棒で校舎に取り付けられました。午後、雨が降ったので作業員は休憩しました。雨が降った後、垂木の周りに横梁が取り付けられました。



**2023年6月24日 土曜**

一日中雨が降っていたので、大工たちは建物の半分にしかな屋根板を取り付けませんでした。雨の中、私は工事現場を出て帰宅しました。





2023年6月26日 月曜

校舎全体が色付きの屋根板で覆われ、美しい印象を与えています。労働者たちは熱心にトイレの屋根を作り始め、屋根板も設置されました。大工たちは仕事を終えることができとても満足し、それぞれの家族のもとに早く帰るため、電話で帰宅を知らせていました。



報告: ジョセフ・ロコ